



2012年12月20日

## 富士重工業 マレーシアで SUBARU XV の KD 生産をスタート

富士重工業と Tan Chong Motor Assemblies Sdn. Bhd (以下 TCMA と略) は、マレーシアにあるタンチョングループの工場で SUBARU XV の KD 生産 (現地組立生産) を開始し、12月19日にラインオフ式を実施しました。式典は、マレーシアのマハティール国際通産省副大臣をはじめとする政府来賓、タンチョングループ幹部、その他関係者出席のもと行われました。

KD 生産は SUBARU XV を年間 5,300 台の規模で TCMA が行い、KD 生産車はタンチョングループのスバル販売網を通じてマレーシア国内、タイ、インドネシアで販売されます。

TCMA は設立当初の 1974 年から日本車および欧州車の KD 生産を行い、1986 年にはスバル車の KD 生産を手がけるなど、自動車の生産、品質管理の高いノウハウを有しています。2012 年 9 月 20 日にインドネシア国際モーターショーにおいて初公開された同工場生産の SUBARU XV の試作車は、流麗で力強いエクステリアデザインと共に品質の高さが評価されました。

富士重工業は、今回の KD 生産を契機に成長著しいアセアン地域においても、スバルのブランドステートメントである “Confidence in Motion” を通じて「クルマのある 自由で楽しい生活」を提案し、拡販を目指します。



SUBARU XV KD 生産 ラインオフ式